

3. ベトナムにおける医療安全推進のための院内組織体制強化事業

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（NCGM）

【現地の状況やニーズなどの背景情報】

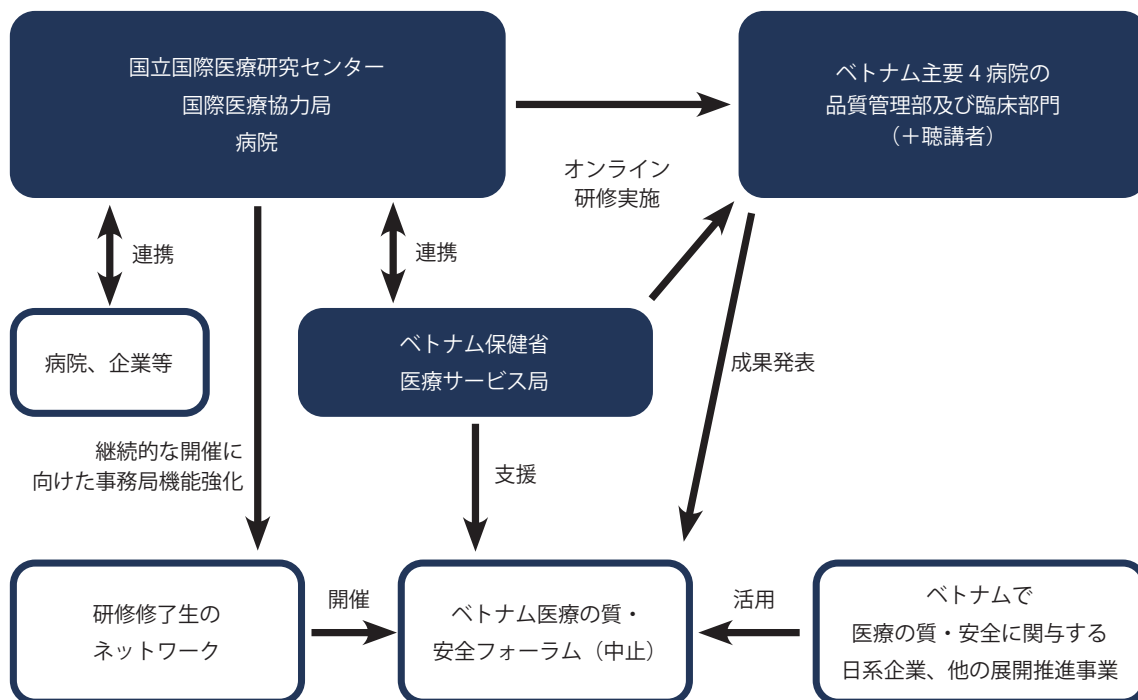
ベトナムでは医療事故等が社会問題となり、保健省は病院内の医療安全管理体制を整備してきた。しかし病院内における医療安全対策の実施状況は病院ごとにばらつきがあり、特に医療安全を担う品質管理部と臨床部門を包括する組織体制の脆弱性が課題である。

【事業の目的】

臨床現場の質・安全の取り組みの推進を目的とし、過去事業に関連した病院を中心に、ベトナムにおけるニーズを調査およびオンラインを活用した研修等を実施する。加えて、具体的な知見・教訓を「ベトナム医療の質・安全フォーラム」にて共有し、関連業界を活性化することで、ベトナムにおける医療安全対策推進に貢献する。また、将来的な継続性を見据えた体制整備のためにフォーラムの運営事務局の設置・運営の支援を行う。

【研修目標】

- ・ オンライン講義やディスカッションを通じて、NCGM およびベトナムの先進的な取り組みを行う病院の活動の知見や経験を共有し、医療安全推進のための活動について理解を深める。
- ・ 研修員が病院における医療安全推進のためのアクションプランを策定する。
- ・ オンラインのメリットを活用し、多くの研修員に研修内容を共有する。



ベトナムでは医療事故等が社会問題となり、ベトナム保健省は医療安全管理体制の構築に取り組んでいる。

2013年には病院内に医療安全の推進部門である品質管理部の設置が義務付けられ、各病院に品質管理部門が設置され始めた。同年、保健省は83項目からなる病院質基準を作成し、年1回の公的な病院監査を実施することで、国家全体で病院の質を管理している。過去の事業では、設置されて間もない品質管理部の医師・看護師・保健省職員等を対象に医療安全に関する日本の取り組みや質改善の考え方を共有してきた。

さらに、研修員の医療施設での取り組みを「ベトナム医療の質・安全フォーラム」を開催することで、幅広い関係者に共有されるよう取り組んできた。

これにより、直接の事業対象としてきた各病院内における「医療安全を担う品質管理部」のキャパシティは強化されたものの、未だ実際の患者へのサービス提供の現場では医療安全対策は各病院において十分な対策が実施されていない。

この理由として、各病院で「臨床部門における医療安全担当者」の人材開発が進んでいないこと、「医療安全を担う品質管理部」との連携・活動等が不十分であること、結果、医療安全向上のために実効性のある院内組織体制となっていないことがあげられる。

この院内組織体制強化、とくに、臨床部門における医療安全担当者の能力向上の必要性について、ベトナム保健省及び過去の事業関係者より、次の課題として支援要請があげられた。

実施体制は図に示すとおり、NCGM センター病院・国際医療協力局が主体となり、ベトナム保健省医療サービス局と連携して事業を実施した。

研修対象は、ベトナム主要4病院（過去研修対象となったチョーライ病院、フンブン病院、ドゥックザン病院、ビンフック総合病院）を含む品質管理部および臨床部門とした。

本来であれば、ベトナムの研修員が日本に渡航して本邦研修を実施する予定であったが、今年度はCOVID-19の影響により、日本-ベトナム間の渡航が困難となった。その代わりとしてオンラインを活用した研修を実施した。

また、フォーラムに関しては、11月後半にベトナム国内で市中感染があり、大人数のイベント等の自粛に関する通達が発出されたこと、また開催時期に5年に一度の党大会の開催と重なり、今年度は中止することとなった。

し、事前登録にて参加可能とした。

医療の質・安全フォーラムについては先の述べた通り、中止となった。

ベトナムとのオンラインミーティング (Microsoft Teams・Zoomを活用)

- ・カウンターパート(ベトナム保健省医療サービス局)と研修実施に関する協議
- ・ベトナムにおけるCOVID-19の状況に関する情報収集
- ・事業の実施体制の確保(アシスタント雇用等)
- ・ベトナムでの研修運営の業者手配 等 **計11回実施**



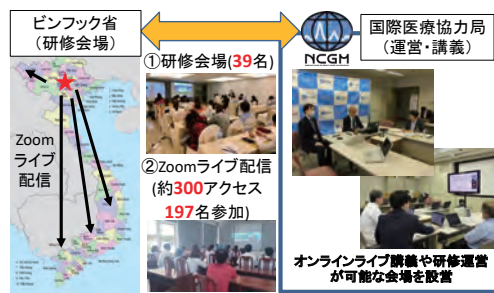
NCGM担当者・ベトナム保健省・NCGMベトナム拠点をつないだオンラインミーティング

ベトナムとの調整にあたっては、Microsoft Teams や Zoom を活用してオンラインミーティングを実施した。

事業実施にあたっては、当初、日本にいながらどまでのオペレーションが可能かわからなかったため、どのような事業が可能かといったところからカウンターパートと協議した。

幸い、ベトナムのオンライン環境は良好であり、通訳を活用しながら効率的に実施することができた。

オンライン研修の概要



Zoomライブ配信では独自に会場を設け院内研修とした病院も見受けられた。(研修案内は過去事業の研修員ネットワークで周知)

こちらは、NCGM とベトナムのビンフック省をつないだ①集合型のオンライン研修と、②①の Zoom ライブ配信の概要である。

NCGM 側では、オンラインライブ講義や研修運営が可能な会場を設営した。

ベトナム側については、ベトナム国内の業者を手配して研修員の旅行・宿泊・会場設営・Zoom 配信等を民間業者に委託し、研修員をホテルに集める形で研修を実施した。

①集合研修型のオンライン研修では、ベトナム保健省の推薦により、主要4病院を含む19病院39名をビンフック省のホテルに集めて、NCGM と回線をつないで研修を実施した。研修を修了した39名に修了証を配布した。

②については、関心の高いテーマであることやZoom というアクセスのしやすさから、約300アクセスがあった。

いくつかの病院ではクラスを設けて研修を受講しており、受講した197名には参加証を配布した。

1年間の事業内容

2020年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
オンラインウェブ調査	ベトナムのオンライン環境及び現地での課題等に関するウェブ調査(5月～6月)									
ベトナムとのオンラインミーティング	ベトナムの現状に関する情報収集や研修実施に関するオンラインミーティング (①6/19、②7/13、③7/15、④8/5、⑤8/21、⑥9/29、⑦10/13、⑧10/27、⑨11/2、⑩12/7、⑪2/22)									
研修教材等の作成	オンライン研修で使用する動画教材等作成									
オンライン研修 (集合研修+Web配信)	NCGM(東京)とベトナムビンフック省の研修会場をつないだオンライン研修 ①集合研修型のオンライン研修 11月4～7日 集合研修 11月13日 アクションプラン発表会 (各自の病院からオンライン参加) ②①のZoomライブ配信									
医療の質・安全フォーラム	医療の質・安全フォーラム(中止)									

事業を開始するにあたり、5月下旬から6月にかけてウェブ調査を実施し、現地のオンライン環境や現状の課題について調査した。

6月頃よりカウンターパートであるベトナム保健省医療サービス局の担当者と定期的にオンラインミーティングを実施し、ベトナムにおけるCOVID-19の状況や研修内容等について協議した。

同時にオンライン研修を前提として進めたため、使用する動画教材(日本での視察の代わりとなる動画など)の作成を進めた。

11月4日から7日、13日の5日間にかけて、NCGM とベトナムをつないだオンライン研修を実施した。①集合研修型のオンライン研修と、②①の Zoom ライブ配信の2パターンを実施した。②は研修の機会を幅広く提供することを目的として、会場に集まらない方も参加できるように過去研修員のネットワークを活用してZoom のアカウントを配布

研修内容(11月4～7日)

- ▶ ベトナム保健省におけるCOVID-19対応
- ▶ Vinh Phúc 総合病院におけるCOVID-19対応および施設見学
- ▶ NCGMにおける医療安全管理対策
医療安全管理室、薬剤部、放射線診療部門、中央検査部門、中央材料室
臨床工学部門における医療の質・安全の取り組みの共有
- ▶ NCGM院内視察(動画にて紹介)



過去事業の研修員の所属するVinh Phúc総合病院が集合研修を全面的にバックアップ(研修運営・病院視察アレンジ等)

研修内容は、今年度の大きなテーマのある COVID-19 対応についても取り上げ、ベトナム保健省及びベトナムでの COVID-19 発生初期に対応したビンフック総合病院の取り組み、さらには NCGM の取り組みについて講演を行った。

講義については、NCGM 医療安全管理室を始め、薬剤部、放射線診療部門、中央検査部門、中央材料室、臨床工学部門に協力いただき、日本取り組みを研修員と共有した。日本の病院で視察ができない代わりに、一般病棟、輸血検査室、中央材料室、薬剤部、手術室における医療安全の実践について、事前に動画教材を作成することで対応した。

今回、ベトナム側の研修運営を担当したビンフック総合病院は会場の近くにあり、COVID-19 の実際の対応等について、現地病院視察をアレンジした。

研修内容(11月13日)

- ▶ アクションプラン発表会
- ・手術安全チェックリストの導入(1病院)、SS導入(3病院)、品質管理と臨床部門のネットワーク活性化(2病院)、医療安全研修の実施(2病院)、輸血抽出チェックリストの作成(2病院)など



NCGMと研修参加者の病院(19病院)をZoomでつなぎ、アクションプラン発表会を実施

集合研修が終了して1週間後の11月13日に、アクションプラン発表会を開催した。各病院からZoomでつなぎ、研修に参加した19病院(100%)がアクションプランを発表した。内容は手術安全チェックリストの導入(1病院)、SS導入(3病院)、品質管理と臨床部門のネットワーク活性化(2病院)、医療安全研修の実施(2病院)、輸血抽出チェックリストの作成(2病院)など本事業の目的である品質管理部と臨床部門との連携促進に関する内容であった。

研修事業の周知



Vinh Phúc総合病院ホームページ
<http://dakhoavinhphuc.com/News/Details/a6e040ed-5b45-4b5a-be4f-f74b244b7e1b>

研修の概要については、ビンフック総合病院のホームページで紹介された。

研修の実施状況については、ビンフック総合病院のホームページにて紹介された。

医療安全を推進する関係者プラットフォーム



研修参加者、オンライン参加者を交えたFacebookページ

病院での取り組みなど記事が投稿された

ベトナムではFacebookがネットワークとして活発なツールであることから、今年度研修の際に医療安全を推進する関係者のプラットフォームとしてFacebookページを立ち上げた。

フォロワー数87名(2月2日時点)であり、右側はアクションプラン発表会の様子について、研修員が投稿した記事である。

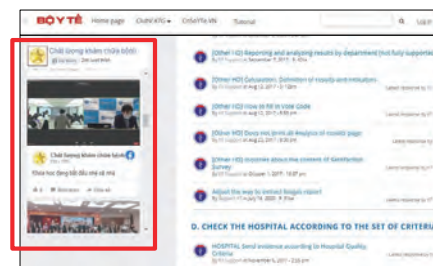
過去研修員が管理する病院の質安全に関するFacebookページを保健省のHPがリンク



- ・2017年度研修員が作成
Ba Ria Hospital Dr. Vũ Duy Tùng 氏
- ・フォロワー数**24,326**人。
2013年9月17日に作成。
- ・ベトナム保健省通達や国内外の医療安全情報を共有するプラットフォームとして活用されている。

さらにはベトナムにおいて、大多数が参加する医療の質・管理に関するFacebookページが確認できた。こちらのFacebookは過去研修員が管理していることがわかり、フォロワー数は24,326人(2月2日現在)であった。

ベトナム保健省の公式ホームページにリンクされたFacebookページに研修情報が共有



ベトナム保健省医療サービス局ホームページ <https://chatluongbenhvien.vn/>

さらにはこのFacebookページが、ベトナム保健省のHP上においてリンクされていることが確認できた。フォロワー数を見ても多くの方の関心を集めていることから、ベトナム国内においては情報共有のための効果的なプラットフォームになりうると考える。本事業もこちらのFacebookページで紹介されていたことがわかった。

今年度の成果指標とその結果（実施前）

	アウトプット指標	アウトカム指標	インパクト指標
実施前	1) オンライン研修 ・対象4病院を含む各施設より、各々4～5名、合計30～40名の参加。 ・対象4病院を含む各施設において、研修後のアクションプランが策定。 2) 研修教材作成 ・①適した研修教材を策定、また提供システムを構築するためのウェブ調査に係る報告書を策定。 ・②10講義以上のベトナム語教材策定。 ・③②の研修教材を提供するメカニズムの試行を3システム以上実施。 3) 医療の質・安全フォーラム ・医療の質・安全フォーラムの年1回の開催とその抄録作成。 ・運営事務局の設立との準備会議2回開催。（もしくは、ウェブベースのフォーラム1回） 4) オンラインによる事業体制整備 ・対象4病院また過去事業に関連する病院の品質管理部職員44名に対して、ベトナムのインターネット環境および研修ニーズ等に関する調査を実施。 ・ベトナム側で事業を支えるアシスタントを雇用。	1) オンライン研修 ・対象4病院が自主的に事業で扱った内容に関する、診療現場のスタッフを対象とした院内研修を最低年1回実施。 ・その研修内容に関連し、院内における医療安全のための活動が定期的に実施。 ・対象4病院からの医療の質・安全フォーラムでの演題発表（1病院×最低1演題）。 2) 研修教材作成 直接裨益者が研修教材にアクセスするメカニズムの開発。 3) 医療の質・安全フォーラム ・本フォーラムに参加する関係者が、各臨床科、企業関係等など多様となり、かつ参加数が増加。 ・運営事務局の役割・組織体制が明確化され文書化。 4) オンラインによる事業体制整備 ・過去の研修生や今年度研修生、及び日本側担当者が交流できるプラットフォームが強化。	・事業対象とした病院において「保健省が規定している病院質基準（行政からの外部評価：年1回）」における「組織体制評価」に関する指標の得点」等が向上する。 ・保健省が本事業の活動で扱った項目に関連する新たな医療安全に関する政策文書が作成される。 ・医療の質・安全フォーラムが、設立された運営組織のもと、継続的に定期開催される。 ・策定した研修教材や提供メカニズムが直接裨益者をこえて、用いられる。

13

今年度のアウトプット・アウトカム・インパクト指標は、コロナによる影響を受けて修正し、次の4つの項目を設定した。1) オンライン研修の実施、2) 研修教材の作成、3) 医療の質・安全フォーラム、4)

オンラインによる事業体制整備である。

インパクト指標としては、事業の成果がより幅広く周知されることを指標とした。

今年度の成果指標とその結果（実施後）

	アウトプット指標	アウトカム指標	インパクト指標
実施後の結果	1) オンライン研修 ・主要4病院を含む各施設より19病院39名が参加。全員に修了証発行。 ・参加施設より19のアクションプラン（100%）が策定された。 ・オンライン配信では300アクセスあり、197名に参加書を発行。 ・病院内視察の動画11本を作成。 ・Moodle、Zoom、Microsoft Teams、Google、Youtube、Facebook等）を試行。結果、Zoomを使用したライブ講義およびGoogleを活用。 2) 研修教材作成 ・病院内視察の動画11本を作成。 ・Moodle、Zoom、Microsoft Teams、Google、Youtube、Facebook等）を試行。結果、Zoomを使用したライブ講義およびGoogleを活用。 3) 医療の質・安全フォーラム ・フォーラム中止に伴い、運営事務局の設立や準備会合も中止。 ・Facebookページを立ち上げ、情報共有のプラットフォーム設置。 4) オンラインによる事業体制整備 ・ウェブ調査に基づき、オンラインを活用した研修を実施。 ・11回の調整会議実施。ベトナムでアシスタント1名を雇用し、効率化に努めた。	1) オンライン研修 ・研修員を対象とした172名のアンケート結果（5段階評価）では、プログラムのデザインについて、45.3%が「4. おおむね適切」、48.8%が「5. 適切」であったと回答した。 ・研修内容に関連した内容のアクションプランが策定された。手術安全チェックリストの導入（1病院）、5S（3病院）、品質管理と臨床部門のネットワーク活性化（2病院）、医療安全研修の実施（2病院）、輸血払出チェックリストの作成（2病院）など。 2) 研修教材作成 ・各講義の内容が役に立ったかどうかを評価したところ、61%が「4. 役に立つ」、18%が「5. とても役に立つ」と回答した。理解度は、64%が「4. 理解できた」4.1%が「5. 大変理解できた（4.1%）」と回答した。 3) 医療の質・安全フォーラム ・研修時に作成したFacebookのフォロワー数は87人（2/2現在）。 4) オンラインによる事業体制整備 ・オンラインツールの操作方法については、58.1%が「4. 簡単だった」、25.0%が「5. とても簡単だった」と回答した。通信状況において50%が「4. 良かった」、37.8%が「5. とても良かった」と回答した。	・ベトナム保健省公式ホームページの品質管理部門への情報共有サイトのFacebookに当事業が紹介された。Facebookは過去事業の研修員が運用しており、過去事業も紹介。フォロワー数は、24,320人（2/2現在）。

14

当事業の実施後、アウトプット指標の1)、2)、4)においては設定した指標を達成した。

3) のフォーラムについては、外部要因の影響により中止となったが、代わりとして、ベトナムで有効な情報共有のプラットフォームであるFacebook ページを設置した。

アウトカム指標の1)、2)、4)については、研修員のアクションプ

ランやアンケート結果から評価し、研修内容は適切であったと考える。インパクト指標は、フォーラムが中止になったことにより、設定した指標に達しなかったが、ベトナム保健省のFacebookに当事業が紹介されたことや、Facebook 管理者が過去研修員であったことから、今後の情報共有のプラットフォームとしての活用が期待される。

今年度の相手国への事業インパクト

健康向上における事業インパクト

- 事業で育成した保健医療従事者(延べ数)
 - ・ 遠隔システムを用いた講義・実習・セミナーを受けた研修員の合計数
集合研修 39名、Zoomライブ配信197名 計236名
 - ・ 研修参加者が情報共有を行うプラットフォームとしてのFacebookの設置(フォロワー数 87名:2/2現在)
 - ・ ベトナム保健省の公式ホームページに設置されたベトナム国内の品質管理に関するネットワークを目的としたFacebookに当事業が紹介された(フォロワー数 24,320名:2/2現在)。またこのFacebookは過去事業の研修員が運用しており、過去事業のフォーラム等の記事も紹介されている
- 期待される事業の裨益人口(延べ数)
 - 医療安全推進のための院内組織体制強化事業
→ 研修を受講した品質管理部および臨床部門のスタッフ数

15

相手国への事業インパクトとしては、スライドに示すとおりである。

これまでの成果

- COVID-19の影響による渡航制限にもかかわらず、オンラインを活用した研修の実施や討議を行うインフラを整備した。
- 研修に参加した19病院において、品質管理部と臨床部門の連携促進のためのアクションプランが策定された。

今後の課題

- 品質管理部と臨床部門とのアクションプランには、病院間で計画策定能力に差が見られた。
- 計画策定能力の差は、事業運営管理能力の差と考え、今後はプロジェクト実施能力の強化に焦点をあてた取り組み必要と考える。
- ベトナムにおけるオンライン研修は事業対象者の面を広げる上でも有効であり、今後もオンラインを基盤とした事業内容を検討していく必要がある。

16

今年度、当事業の成果としては、COVID-19の影響による渡航制限にもかかわらず、オンラインを活用した研修の実施や討議を行うインフラを整備できたこと、さらに研修に参加した19病院において、品質管理部と臨床部門の連携促進のためのアクションプランが策定されたことが挙げられる。

今後の課題としては、2点ある。1点目は、対象病院を絞った改善モデルの構築である。アクションプランの実施及び計画にあたっては、病院によって品質管理部の計画策定能力に差が見受けられるため、各施設のプロジェクトが促進するための改善モデルを示すことが有効と考える。今年度の対象施設もフォローしつつ、効果的な事業を検討する必要がある。

2点目は、情報共有のプラットフォームであるフォーラム及びFacebookの活用である。今年度は研修員が参加するFacebookが設置されたが、それを有効活用するための運営体制などの整備はなされていない。フォーラム及びFacebookは情報共有のプラットフォームとして有効であるため、主体的な情報交換を促す体制を構築する必要がある。

将来の事業計画

研修の実施

- ベトナムにおける品質管理部の能力向上および臨床部門との組織内連携強化
- 医療サービスの質が管理される
- 患者に安全な医療が提供される
- ベトナムの公衆衛生・医療水準の向上に貢献

医療技術定着の考え方の例
研修導入→研修拡大→マニュアル・ガイドライン策定→国家政策化→(技能を扱う職種の整備)→現地予算での持続的な研修実施→技能により質の高い医療を受けられる人が増える→対象国の公衆衛生・医療水準の向上に貢献する。

17

将来の事業インパクトとしては、当事業の研修の実施により、ベトナムにおける品質管理部の能力の向上および臨床部門との組織内連携の強化につながり、結果として、医療サービスの質が管理され、患者に安全な医療が提供されることである。

最終的には、これらの取り組みがベトナムの公衆衛生・医療水準の向上に貢献することを期待し活動を継続していきたい。